



1/15

地域の安心・安全を守る 消防車両引渡し式

茂原地区を管轄する長生郡市広域市町村圏組合の消防団第1支団第2分団第2部に、総務省消防庁より救助資機材搭載型消防ポンプ自動車が無償貸し付けされ、その引渡し式が市役所で行われました。

同組合管理者である田中市長からは、「安心で住みよいまちづくりの一翼を担っていただきたい」との激励の言葉があり、団員たちは気を引き締めていました。



▲新型ポンプ車を前に決意を新たにす団員たち



▲東京工業大学の石川教授が座長を務めました

浸水被害をなくすために

一宮川流域懇談会が整備計画の原案を了承

1/21

千葉県は、東日本大震災の津波被害や平成25年10月の台風による浸水被害を受けて、一宮川水系河川整備計画の作成を進めていました。この日開催された一宮川流域懇談会（学識経験者や住民、市町村長らで構成）では、県から示された計画案について意見交換が行われ、原案が了承されました。今後は、国との協議を行い、同意されれば新年度から事業実施されます。【計画案の骨子：①第二調節池（墨田）の容量を増やす②河道改修（築堤・掘削・護岸改修など）】

1/29

魅力ある“もばら”を目指して 景観セミナーを開催

千葉県と茂原市の共催による「第4回景観セミナー」が市役所市民室で開催され、市内外から77人が参加しました。

当日は、茂原市景観アドバイザーの杉山朗子^{あきこ}氏が「魅力のあるまちの景観と色彩」をテーマに、色を使いこなすことによって、まちの魅力を作りだすにはどうしたらよいのかを多くの事例を取り上げながら分かりやすく説明。参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



▲参加者からの質問に答える杉山朗子氏



▲福をつかもうとたくさんの人で賑わいました

福を呼び込もう！

藻原寺で恒例の豆まき

2/3

市内茂原の藻原寺で、1年の無病息災を願い毎年恒例の「豆まき」が行われ、境内は子どもからお年寄りまでたくさんの人で賑わいました。

舞台上から「福は～内」の掛け声とともにお菓子やカップラーメンなどがまかれると、集まった人たちからは歓声が上がリ、寒さを忘れて一斉に手を伸ばしていました。